大会報告

地元紙「紀伊民報」に載りました

平成 22 年 12 月 19 日 和歌山県民オリエンテーリング大会

KOLA
横田実

大阪から、白浜近くにある新庄総合公園へ。高速道路で行きはスムーズなんですが帰りが大変でした。

■ 新庄総合公園へ ■

和歌山県田辺市。「白浜温泉」といったほうが通りはいいのでしょうか。中学生の部員 6 人と参加をしました。大阪から、自動車で 2 時間弱。時間的にも近くなり、高速代も 1000 円高速政策のおかげで格安になりました。

新庄総合公園は、子ども連れで訪れるのには良い場所です。広場でも遊べますし、遊具も色々なものがあって、中学生ぐらいでも飽きないぐらいです。うちの生徒は、例年のように芝生広場で走り回っていました。

■スコアOでの作戦は？■

今回は、Aクラス 25 分でのスコアO。地図を 1 分前に渡されるので、それを見ながらの作戦タイム。大きく左回りか右回りかを選ぶのだが、僕は右回りを選択。結局、去年と同じ作戦で、これが裏目になってしまいました。

［グループクラスでの作戦タイムの様子］

大阪ＯＬＣの沖浦さんは、110 点をすべて取りにいく左周りの作戦で、優勝。

生徒たちは、Ｂクラスの制限時間が 30 分だったのですが、門村と岡本が藪に迷い込み、1 時間を超える大幅減点。撤収で回っていた県協会のメンバーに声をかけてもらいようやくフィニッシュ。秦は、2 位に入る検討。といってもＢクラスは 8 人出走中 6 人が ISOC でしたが(^_^;)。

■ 地元紙に掲載 ■

レース後、地元紙の取材を何人かが受けていて、その記事に沖浦さんや僕のコメントも載せて頂きました。
以下、その抜粋を載せておきます。

県オリエンテーリング協会主催の「県民オリエンテーリング大会」（紀伊民報など後援）が 19 日、田辺市たきない町の新庄総合公園であった。個人とグループの 2 部門計 6 クラスに 96 人が参加した。

地図とコンパスを使って公園内に設置されたチェック地点を制限時間内にどれだけ探し出せるかを競った。スタート地点から遠い場所にあるチェック地点ほど得点が高く、参加者は各自の体力に合った方法で作戦を立てた。

県オリエンテーリング協会の坂口総之輔副会長は「オリエンテーリングは、宝探しのような感覚で楽しくできる。自然に恵まれた紀南の地はオリエンテーリングの会場に適しており、普及のために毎年新庄総合公園などで開催している」と話した。

友達とグループで参加した同市会津小学校 3 年生の冨田芽生君（9）は「宝物を見つけるようでオリエンテーリングは面白い。最後まであきらめずにゴールに入った時は達成感がある」と感想を話した。

県外からは大阪府和泉市の信太、北池田の両中学校から 1、2 年生 6 人が参加した。岸和田オリエンテーリング協会の会長で生徒を引率して自らも参加した横田実教諭（46）は「校区の垣根を越えて生徒が自由に活動できる野外活動クラブがあり、田辺市であるオリエンテーリング大会に毎年出ている」と言う。

一般上級者クラスに出場し、優勝した大阪オリエンテーリングクラブの沖浦徹二副会長（49）は競技歴 30 年。一番遠い地点にあるチェック地点 7 カ所すべてを回り高得点を獲得した。

沖浦さんは「和歌山のオリエンテーリング協会のメンバーと顔なじみで大会開催を知って参加した。オリエンテーリングは体力と知力を使うのが魅力。今回のコースは公園と山林内の部分が組み合わさっていて楽しかった」と話した。

（横田実）